

輸出事業計画

※申請者名：みやざき『食と農』海外輸出促進協議会

品目：きんかん

1. 輸出における現状と課題

〈香港向け〉

【現状】

都心部の日系の百貨店や量販店を中心に販売実績があるが、更なる認知度向上・販路開拓が必要。

【課題】

春節ニーズに対応するための生産出荷体系の構築が不十分で、12月～3月までの安定した売り場作りができていない。

〈台湾向け〉

【現状】

現地バイヤーから品質について高い評価を得ているため更なる認知度向上と販路開拓が必要である。現地インポーターからは台湾の残留農薬基準に対応した輸出専用産地の構築への期待が高い。

【課題】

台湾の残留農薬基準への対応が必要である。

〈シンガポール向け〉

【現状】

本県産きんかんへの期待が高い。

【課題】

春節ニーズに対応するための生産出荷体系の構築が不十分で、12月～3月までの安定した売り場作りができていない。

〈U A E・湾岸諸国向け〉

【現状】

本県産きんかんは甘くそのまま食べられるので評価が高く輸出の可能性がある。

【課題】

ニーズ調査の結果おいしさを意識した販売が重要なため完熟きんかんを中心として出荷している産地の選定が必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

〈香港・シンガポール向け〉

・春節に対応した新たな作型を体系化するため、12月下旬以降の温室きんかんの作型後期から1月中旬以降の完熟きんかんの作型への出荷リレー体制づくりを進める。

輸出事業計画

※申請者名：みやざき『食と農』海外輸出促進協議会

品目：きんかん

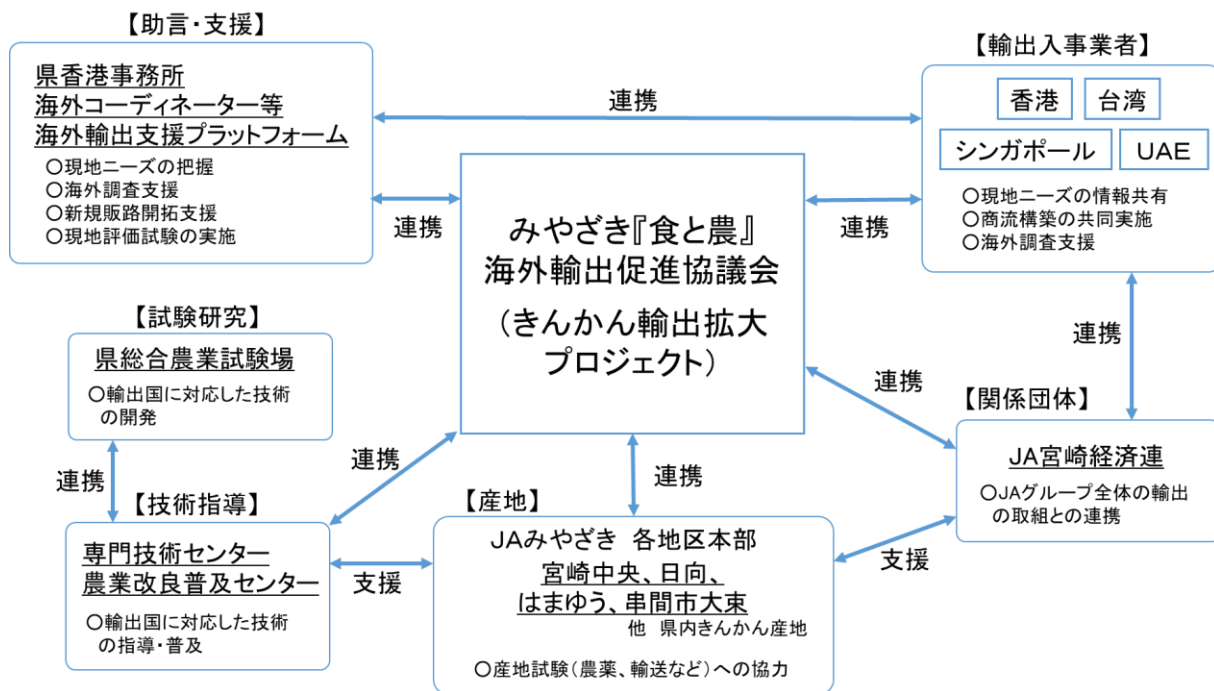
〈台湾向け〉

・台湾の残留農薬基準に対応するため限られた農薬での防除となるため、技術的な検討が必要であり、試験研究部門や技術指導部門との連携、生産者に対しての輸出用きんかんに対する生産・出荷の理解浸透と産地の拡大を図る。

〈U A E・湾岸諸国向け〉

・完熟きんかんの出荷時期は1月中旬からだが産地間で出荷時期にバラツキがあるため出荷開始時期から終盤まで安定供給できるように輸出向けの完熟きんかん産地・生産者数を拡大していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

きんかん	現状 (令和4年度)	目標年 (令和7年度)
輸出額（千円）	52,043	68,000
輸出量（t）	54.9	77
輸出先国	香港、台湾 シンガポール	香港、台湾 シンガポール U A E・湾岸諸国